

文部時報

昭和五十七年九月
第一二六四号

特集 学習社会と公民館

生涯教育と公民館

木田 宏 4

▽座談会

これからの公民館

8

(出席者) 藤原 英夫・山本 恒夫・高橋三千男

元木 健・(司会) 田中 久文

新しいコミュニティ形成と公民館の役割

松原 治郎 24

公民館における新しい事業の開発

三浦清一郎 30

▽解説

統計でみる公民館の現状

社会教育局社会教育課 36

▽施設紹介

公民館活動の展開

秋田県西仙北町中央公民館 48

大都市における公民館活動

川崎 市 51

他の社会教育施設と連携した公民館活動

広島県大野町中央公民館 55



随想

公民館の見直し

石井 耕一 60

△二回分載・前編▽

第二回世界文化政策会議に出席して

内藤 貞 68

中学・高校生の数学成績と諸条件

沢田 利夫 75

- 海外教育ニュース……大臣官房調査統計課……62
- 一九八二年度大学新卒者の諸特性(アメリカ合衆国)／総合制学校修了証の州間の相互承認(西ドイツ)／一 高校第二・第三学年の新しい教育課程 二 国民の三割はまるで本を読まない(フランス)／三歳からの教育を無償化(イスラエル)
- 文部省のまじ
- 昭和五八年度文部省所管
概算要求の概要……大臣官房会計課……83
- 昭和五七年度学校基本調査
速報……大臣官房調査統計課……86
- 昭和五八年度の国立大学第二次試験の概要……大学局大学課……89

米飯給食実施状況

……体育局学校給食課……91

文教施策連絡協議会

全国三地区で開催
……大臣官房企画室……95

●文部時報表紙絵募集……21

文化財紹介 ●白地菱紋繪葉草花模様

辻ヶ花染服

(河上繁樹)

名作シリーズ

●四季花鳥図屏風

(解説) 原田 実……29

表紙 小林敏子 カット 内部敬生



私が沖縄の玉碎戦から生還し、町役場の総務課長に復帰して間もなく、公民館設置に関する文部次官通牒が出た。その年の秋、寺中作雄社会教育課長が「公民館の建設」を書いた。私はむさぼるように読んだ。今でも公民館の歴史を語るとき、必ず「寺中構想」という言葉が出る。

翌昭和二二年、私と同年の友人が公選初代町長に当選した。町会議員の経験もなかったので、私が助役として協力することになった。私たちは三二歳であつた。

公民館の見直し

石井 耕一

寺中課長は「公民館はどんなものか」の中に次のように記している。

公民館は単なる施設・建物でない。公民館は町村という自治体に結びついて居り、背後には町村民が控えている。公民館には町村民の魂、町村公民の自治精神が宿り、郷土の振興・民主主義実践の理想に燃えて躍動している。公民館は施設と人と精神が結合してできた機関であつて、日本を民主化する原動力となるものである。

「公民館とはどんな機能を持つか」の中に次のように記している。

公民館は社会教育機関であり、社交娯楽機関であり、自治振興機関であり、産業振興機関であり、青年養成機関であり、その他町村において必要と思えば、尚色々の機能を持たしめて運営する事ができるが、要するにそれらの機能の総合された町村振興の中心機関である。

私はこの趣旨に共鳴し、助役と公民館長との職務区分も考えずに町作りに励んだ。

昭和三五年に専任公民館長任命、町は昭和四五年に市

議会議員の平均年齢は、私たちより一五歳上である。まず苦勞したのが議会対策であつた。議会対策といつても、結局はこれからの町をどうするか、である。

長い戦争で建設事業はほとんどやっていない。財政は窮迫している。何もかも新発足である。私は、物理的建設と精神的建設とを一体にした町行政の方針を立て、新しい町作りに寺中構想を活用することを考えた。

小学校高等科の空いた教室に公民館を設置し、私が兼務の公民館長に選任された。まず飛び込んだのが青年、次いで婦人である。

昭和二五年に公民館の新築を発表すると、猛烈な反対運動が起こつた。若い町長と助役は、反対が強まるほど情熱を燃やし、幸い議会の議決を得て、新潟県で本格的な新築第一号の公民館が実現した。翌昭和二六年の秋には、全国優良公民館として文部大臣表彰を受けた。

その前々年には社会教育法が施行され、寺中構想の中心にいた鈴木健次郎文部事務官が「郷土自治建設と公民館」で、寺中構想を具体的に解説した。

制施行、翌年私は市長当選、昭和四八年新潟県公民館連合会長に選任されて以来、関東甲信越静代表で全国公民館連合会理事、今年は副会長に選任された。

私が県公連会長に出されたのは、市長は予算獲得がうまいから、という理由らしい。公民館に利用されているのだが、私は公民館を利用しようと思つて居る。

人間はすべて幸せを求めている。いい地域を作り、そこに住むすべての人を幸せにするのが行政の目的であり、教育の目的もそれと異なるところが無い。特に近年強調される生涯教育は、教育の領域だけで目的を達成できるものでない。

寺中氏は元内務官僚だからあのような発想になつたのだ、と言う人があるが、あれが本当である。私も同じようなもので生涯教育センターとしての公民館を見直している。そして、自治大臣を経験した小川文部大臣に、見直し再発足すべき公民館の振興を大きく期待している。

(全国公民館連合会副会長・豊栄市長)

特集 高等専門学校二〇年の歩み

高等専門学校への期待

齋藤 進六

座談会

高等専門学校の歩みと今後の展望

(出席者) 市川 真人・岡野 澄・緒方 信一

藤野 喜一・(司会) 佐藤 次郎

高等専門学校教育の理念と実践

西田亀久夫

高等専門学校における学生指導と進路状況

河上 房義

高等専門学校教育と技術科学大学

齋藤 信義

解説・資料

高等専門学校制度の経緯と現状 大学局技術教育課

学校紹介

沼津工業高等専門学校

鳥羽商船高等専門学校

編 集 後 記

▽冷夏と言われた今年の夏も終わり、読書に、スポーツに、そしてまた芸術にも、ひときわ熱の高まる秋がやってきた。今月は、各地における住民の学習活動の拠点機関としての「公民館」を、特集テーマに取り上げた。

▽公民館が社会教育法の制定によって法的に位置づけられてから三〇年が経過したが、この間、一貫して各地の社会教育の中心的機関として整備・活用されてきた。近年は、生涯教育という思潮のもとに、特に地方において、各種の学級・講座が開設され、あるいはまた様々な行事が、公民館を中心に展開されている。施設の規模は別として、館数一万七千余は、小学校約二万五千校と比べてみても、大変な普及である。

▽一方で、大都市に公民館が少ないというのも一つの特徴である。更にまた、カルチャーセンターなどに代表される民間の教育文化産業の発展や、図書館、博物館等の整備によって、地方においても、住民の学習の場は多様化してきている。このような新しい時代を迎えて、公民館の在り方が問われているが、本号がその手がかりとなれば幸いである。コーディネーターの機能を持つことと併せ、公民館の果たす役割は、今後も非常に大きいのではないだろうか。(企画室)

MEJ 61 月刊 「文部時報」 9 月 号 第1264号

著作権
所有

文 部 省

昭和57年9月5日 印刷
昭和57年9月10日 発行

発行所 株式会社ぎょうせい
本 社 東京都中央区銀座7丁目4番12号
(郵便番号 104)
(営業所) 東京都新宿区西五軒町52番地
(郵便番号 162)

定価 2 5 0 円 (〒50円)

年間購読料 3 0 0 0 円 (〒共)

電話 東京 (268) 2141 (代表)
振替口座 東京9-161番
印刷所 株式会社行政学会印刷所

・ただし、増大号、臨時号の場合は別に代金を申し受けます
・なお、購読のお申し込みは直接営業所またはよりの書店にお願いします